



学校法人 有明学園
有明高等学校 体操競技部監督

風間英一さん

かざま・えいいち 昭和 35 年生まれ。日本体育大学卒業。
平成 21 年から有明高等学校で教頭を務める。趣味は海釣り。
引きの強いメジナ（通称フコ）を釣りに行くそうです。

県高等学校総合体育大会での団体優勝13連覇など、快進撃の止まらない有明高等学校体操競技部。その監督を務めるのが風間英一さんです。

「体操があつたから今の自分がある」と、風間さんは今までを振り返ります。風間さんが本格的に体操をはじめたのは高校生のとき。顧問の先生の誘いで参加した体操部の練習に圧倒され、「こういう世界もあるんだ」と、体操に人生を懸ける決意をしました。それから、日々の練習はもちろん、食事に気をつけ、電車ではつま先立ちをするなど体操が生活の中心になりました。オリンピックを目指し、大学卒業後も選手として3年間頑張りましたが、夢は叶いませんでした。そこで、自らの経験を生かし、自身の果たせなかった夢を子どもたちに託すため、指導者の道を歩んできました。

が体操の醍醐味。その喜びのために、風間さんも生徒たちも体操を続けてきました。

「心・技・体」が風間さんの体操のテーマです。心と体が体操選手になることで、技も伴うようになります。そのためには地道な練習で体を鍛え、つらい練習を乗り越える精神を養うことが不可欠です。生徒たちはハードな練習をこなし、試練を乗り越えてきました。それがトップレベルの選手の輩出へとつながり、その輝かしい実績があるからこそ生徒たちも必死についてきます。

「自分の持てる全てを生徒たちに与えています」と、風間さんは話します。体操で生計は立てられませんが、体操を手段にして、大学進学や教師になるなど生きる道を決めることができます。「体操を経験することで、人生の糧にしてほしい」と、風間さんは願っています。

「生涯現役で体操を教えたいですね」と、笑顔を見せる風間さん。自分が育てた選手がオリンピックに出場することを夢見て、今日も熱い指導に励みます。



1. 体育館に歴代の賞状を飾り、選手の意識を高めています。2. 生徒たちの強さの秘けつは、走り込みなどの体づくりと設備の整った専用体育館での練習です。3. 小・中学生が活躍するジュニアクラスもあります。4. 高校総体優勝時の記念写真。前列左から上野さん、松永さん、寺岡さん、田口さん、片山校長。後列左から風間さん、今村さん、三嶋さん。